

公益財団法人ちば県民保健予防財団 調査研究ジャーナル 投稿規定

1. 研究報告掲載の目的と編集方針

- 1) 本財団の目的である、「結核をはじめとする感染症、がんその他生活習慣病等の予防に関する支援並びに健康の保持増進に関する調査研究及び普及啓発を行い、もって公衆衛生と福祉の向上に寄与する」の具体的な活動として、研究成果を広く県内外の研究者・実践者に時宜を得て提供することを目的とする。
- 2) 特に、学会誌等に発表するまでには至らないが、研究報告として記録に残すことにより今後の研究等で引用ができることが望ましい研究報告や、継続する研究の中間報告の発表の場として、研究歴の少ない職員でも積極的に投稿できる場を提供する。しかし、研究報告として一定の水準を保つため、投稿論文は査読審査を経ることとする。

2. 投稿資格

筆頭著者は原則としてちば県民保健予防財団の役職員とし、「投稿承諾書」（様式1）により共著者全員が投稿を承諾していることとする。ただし、依頼原稿についてはこの限りではない。

3. 論文の採否・掲載

- 1) 調査研究は、医学研究における倫理規定を遵守していかなければならない。
 - (1) 人を対象とした研究はヘルシンキ宣言（2013年10月修正）の精神に則り、人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（令和3年文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第一号）等を遵守して行われるものでなければならない。
 - (2) 動物を用いた研究についても「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針」（平成18年文部科学省）等を遵守し、動物実験委員会等の承認を受けたものでなければならない。
- 2) 論文掲載の採否は、査読者の意見を参考にし、調査研究ジャーナル編集委員会（以下、編集委員会）が決定する。審査の結果、編集方針に従って原稿の加筆、削除、書き直しなどを依頼することがある。
- 3) 投稿論文は、他の学会誌等に掲載されていないものであり、かつ投稿中でないものに限る（二重投稿の禁止、同時投稿の禁止）。

4. 執筆要綱

1) 原稿の区分

総説、原著、短報、症例、実践報告、資料とし、その概要と字数は下表のとおりとする。

総説 (Review Article)	特定の主題についてこれまでの知見や研究業績の総括	12,000字以内
原著 (Original Article)	独創性・新規性があり、かつ科学的に価値ある事実を含むもの	10,000字以内
短報 (Brief Report)	原著論文としてはまとめられないが報告に値するもの	3,000字以内
症例 (Case Report)	臨床的に価値のある症例等に関する報告	6,000字以内
実践報告 (Practical Solution)	公衆衛生の向上に関わる実践活動の報告	6,000字以内
資料 (Research & Field Note)	記録にとどめる価値のある資料や情報	6,000字以内

※図表は400字を目安とする。

2) 投稿原稿

- (1) 原稿は原則として和文もしくは英文とし、コンピュータソフト（MS Word等）にて作成する。
- (2) 横書き、新かなづかいのわかりやすい口語体を用いる。
- (3) 表はコンピュータソフト（Excel等）で作成し、画像化しない。
- (4) 線画の解像度は600dpi以上、写真的解像度は300dpi以上とする。
- (5) プリント原稿はA4に、余白を上下左右2.0×2.0cmとり、フォントサイズはタイトル12ポイント、要旨、本文は10.5ポイント、本文は40字×50行の1段組み、数字、英字、英文抄録は半角文字にて原稿を作成する。

- (6) 医学用語は日本医学会医学用語辞典（Web 版：<http://jams.med.or.jp/dic/mdi.html>、日本医学会）、医学中央雑誌医学用語シソーラス（第9版、2019、特定非営利活動法人医学中央雑誌刊行会）、呼吸器用語集（第5版、2017、一般社団法人日本呼吸器学会）などの最新版を参照する。
- (7) 略語は最初に用いるときに必ず略さず書き定義する（例：関節リウマチ(Rheumatoid arthritis:RA)）。なお、論文タイトルは略語を用いてはならない。要旨中で用いる場合も定義したうえで用いる。
- (8) 原稿はプリント原稿（正1部・副2部）とCD等に保存した電子データを提出する。その際、使用機器、使用ソフト名、保存ファイル名をラベルに明記する。

3) 論文の構成

- (1) 原稿の区分、論文タイトル、著者名、所属機関名、著者への連絡先（E-mailアドレスも明記する）、キーワード（5項目以内）、ランニング・タイトルを記載する。
- (2) 英文で表題、著者名、所属を記載する。
- (3) 和文要旨を400字以内で記載する。併せて、200語以内の英文要旨及びキーワードの英訳をつける。ただし、実践報告、資料については英文要旨及びキーワードの英訳を省略することができる。総説以外の要旨は目的（Objectives）、方法（Methods）、結果（Results）、結論（Conclusion）に分けて見出しがつける。

(4) 本文

- ①本文は、原則として、緒言（序、はじめに等）、研究対象・方法（研究方法、調査方法等）、結果（成績、研究結果等）、考察、結語（おわりに等、省略可）、謝辞（必要な場合）、利益相反、文献の順に、区分を設けて記述する。
- ②図表は本文中に書きこまず、別に図・写真の説明、表、図・写真を作成し、図の文字、数字、記号はそのまま掲載可能な明瞭で十分な大きさのものとする（原則としてカラー不可）。
- ③図表等は図1、表1、写真1等の番号を付け、本文中に朱書きで挿入希望位置を明示する。
- ④「人を対象とする生命科学・医学系研究」に該当する場合は、倫理審査を受けた委員会の名称、承認日と承認番号を本文の「研究対象・方法」の中に記載する。

(5) 利益相反

本文の後に「自己申告による利益相反(COI)申告書」（様式2）の内容を記載する。

- ①利益相反がない場合、以下の定型文を入れる。

開示すべき利益相反はない。

- ②利益相反がある場合、「自己申告による利益相反(COI)申告書」（様式2）の項目に係らず利益相反のある著者名とする。定型文は以下のとおりである。
本論文に関する利益相反は以下のとおりである。

例1) 健康花子（○○製薬）

例2) 健康花子（○○製薬、株式会社□□）、保健太郎（株式会社××）

(6) 文献の記載方法

- ①文献は本文に引用された順に番号（上付き）をつけ、末尾に一括し記載する。
- ②共著者3名以内（4名以上は、和文誌は他、英文誌はet alとする）。表題。雑誌名（医学中央雑誌及びPubMedの記載に従う）。年（西暦）；巻：頁（開始頁と終了頁）の順に記載する。

記載例

和文誌	堀益靖,北口聰一,大江美紀,他.縦隔原発混合性胚細胞腫瘍の1症例.日呼吸会誌 2011;49:44-8.
英文誌	Denlinger LC, Sorkness RL, Lee WM, et al. Lower airway rhinovirus burden and the seasonal risk of asthma exacerbation. Am J Respir Crit Care Med 2011;184:1007-14.
単行本	武藤敬,小山信一郎,堀江孝至.び慢性汎細気管支炎.太田保世,川上義和編.呼吸器病学.東京:中外医学社.1990;165-71.
単行本	Rall TW. Central nervous system stimulants (continued) : The xanthines. In: Gilman AG, Goodman LS, Gilman A, ed. The Pharmacological Basis of Therapeutics.6th ed. New York: Macmillan.1980;595-607.
ガイドライン	日本呼吸器学会医療・介護関連肺炎(NHCAP)診療ガイドライン作成委員会.医療・介護関連肺炎(NHCAP)診療ガイドライン.2007;21-4.

③新聞記事の場合は、新聞名、記事が掲載された日付、朝夕刊の別、記事のタイトルを記載する。

記載例

新聞記事	千葉日報、2012年4月10日、「県民健康・栄養調査 成人男性3人に1人肥満、20代女性の喫煙が急増」
------	---

④Web ページ（インターネットの閲覧・オンライン文献）

作成者、Web ページのタイトル、アドレス（URL）、アクセスした日付を記載する。

記載例

オンライン 文献	「俗字の字典」< http://hp.vector.co.jp/authors/VA000964/html/zokuji.htm > (2022/08/16 アクセス) 厚生労働省：令和元年国民健康・栄養調査結果の概要 < http://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000687163.pdf > (2022/08/16 アクセス)
-------------	---

5. 校正

著者校正は初校の1回とする。

6. 著作権

本誌に掲載された論文の著作権は、公益財団法人ちば県民保健予防財団に帰属する。論文に他人の図表を転載する場合には、著作権の所有者より転載許可を受け、その写しを提出する。

7. 利益相反の申告

本誌への投稿に際し、著者全員が「自己申告による利益相反（COI）申告書」（様式2）により利益相反に関する自己申告を行わなければならない。ただし、利益相反の有無は掲載採用の判定に影響しない。

8. 別刷

投稿論文の著者が、別刷を希望した場合、30部まで無料とする。それ以上の場合は50部単位とし、その費用は著者の負担とする。著者校正時に申し込むこと。

9. 原稿の提出先・問合せ先

〒261-0002 千葉市美浜区新港32番地14
公益財団法人ちば県民保健予防財団 調査研究部調査分析課
TEL: 043-246-8606

附則

1. この投稿規定は平成24年5月22日に制定する。
2. 平成25年7月25日一部改正
3. 平成27年4月25日一部改正
4. 平成27年9月2日一部改正
5. 平成29年12月4日一部改正
6. 令和4年8月29日一部改正

(様式1)

投稿承諾書

ちば県民保健予防財団調査研究ジャーナル編集委員会 御中

論文題名 :

著者名（筆頭者から全員の氏名を記載して下さい）

私は本論文の共著者として投稿することを認めます。なお、本論文が、調査研究ジャーナルに採用された場合、当該論文の著作権を公益財団法人ちば県民保健予防財団に委譲することを承諾いたします。

筆頭著者(自署) _____ 承諾日 年 月 日

共著者

氏名(自署) _____ 承諾日 年 月 日

(様式2)

自己申告による利益相反(COI)申告書

著者名：_____

論文題名：_____

(投稿時から遡って過去1年以内で発表内容に関係する企業・組織または団体とのCOI状態を記載し、筆頭著者が取り纏めて論文投稿時に提出して下さい。)

項目	該当の状況	有であれば、著者名：企業名などの記載
①報酬額 1つの企業・団体から年間100万円以上	有・無	
②株式の利益 1つの企業から年間100万円以上、あるいは当該株式の5%以上保有	有・無	
③特許使用料 1つにつき年間100万円以上	有・無	
④講演料 1つの企業・団体から年間合計50万円以上	有・無	
⑤原稿料 1つの企業・団体から年間合計50万円以上	有・無	
⑥研究費・助成金などの総額 1つの企業・団体から研究経費を共有する所属部局(講座・分野あるいは研究室など)に支払われた年間総額が200万円以上	有・無	
⑦奨学(奨励)寄付金などの総額 1つの企業・団体からの奨学寄付金を共有する所属部局(講座・分野あるいは研究室など)に支払われた年間総額が200万円以上	有・無	
⑧企業などが提供する寄附講座 企業や団体が提供する寄附講座に所属している場合	有・無	
⑨旅費、贈答品などの受領 1つの企業・団体から年間5万円以上	有・無	

(本COI申告書は論文掲載後2年間保管されます)
(共著者多数の場合、複数枚に分割しての提出も可とします)

申告日： 年 月 日

記名（自署）_____